

身近な生き物 「カエル」から見る生物多様性



ボクたちの今を
知ってケロ!

誰でも
参加可能
参加費無料

水田のまわりで遊んだ経験のある人が減って水田の生き物を手のひらで感じた経験を共有しにくくなっている時代です。水田の多面的な価値の認識は、最近高まってきました。そこで、水田の生き物の代表種であるカエルってどんな生き物か、身近なカエルの見分け方、水田環境とカエルの勢力図の変化など、愛知県に棲むカエルたちの話題から、身近な生物多様性を解き明かします。

2017年 10/9(月・祝)
ウイנקあいち 13階1302
申込締切 10/2(月)必着

JR名古屋駅桜通口から
ミッドランドスクエア方面
徒歩5分
ユニモール地下街
5番出口 徒歩2分

講演会 13:30 ~ 16:30
・情報交換会 (受付は13:15~)

講師 島田 知彦 氏
(愛知教育大学准教授)

※講演会後に講師を囲んで懇親会を行います。



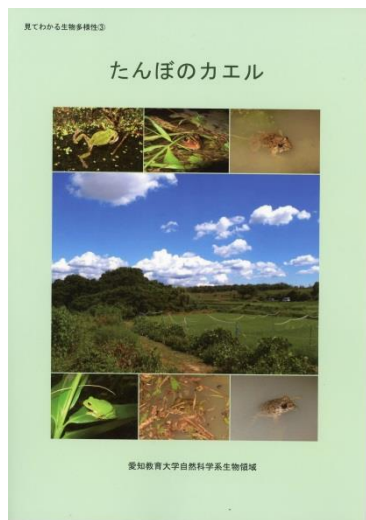
主催 愛知県自然観察指導員連絡協議会 <http://www.naichi.net>

後援 日本自然保護協会・愛知県

本事業はあいち森と緑づくり環境活動推進事業の助成を受けて実施します。

【講師プロフィール 島田知彦（しまだともひこ）】

長野市生まれ。博士（人間・環境学）。愛知教育大学理科教育講座准教授。ボルネオ島をはじめとする東南アジアの両生類の系統分類学に携わる傍ら、愛知県の両生類の自然史学的な研究や保全活動にも取り組む。著書に『たんぼのカエル』（愛知みどりの会）、『ボルネオ島の両生類 ―その多様性をさぐる―』（愛知教育大学ブックレット）。



◆ 情報交換会 16:30終了 『名古屋市内のヒキガエル』

レッドデータブックなごや2015ではじめて絶滅危惧種の仲間入りをしたヒキガエル。ちょっと前までは市内でもあちこちで見かけたカエルでした。でも「ちょっと前まで」っていつのこと？「あちこち」ってどこのこと？…かつて身近であっただけに、意外に古い記録が残っておらず、このことが保全策を考えるうえでも大きな障壁となっているのです。

そこで昨年、なごや生物多様性センターを中心に名古屋市内のヒキガエルに関するアンケート調査が行われました。その結果、多くの情報が集まり、全国的にも例のない、都市部に暮らすヒキガエルの分布の変遷に関する研究がまとまりつつあります。今回の講座では、このアンケート調査の結果にも触れ、参加者のみなさんから情報を提供してもらいながら、名古屋市内のヒキガエルの「過去・現在・未来」を考えます。

◆ 懇親会 17:00～19:30 場所：笑笑 名古屋駅前店

ウインクあいちから徒歩2分。ユニモール地下街5番出口の目の前です。
住所:愛知県名古屋市中村区名駅4-6-23 第三堀内ビル 地下1階 電話:052-581-9188
【飲食代・3500円 飲放題付】
島田知彦先生を囲んで懇親会を行います。奮ってご参加ください。

※当日、満席が予想されますので、事前に参加人数を把握したいと思います。会場の準備の都合上、事前申込にご協力ください。

申し込み先/事務局 石原へ 電話か・Fax:052-711-3087

または E-mail：norinameobata@yahoo.co.jpにて

氏名、電話番号またはeメールアドレス、お住まいの市町村、

所属（あれば）と 参加項目 ①講演会・情報交換会のみ ②懇親会も をご連絡ください。

誰でも
参加可能